



総務建設産業委員会

◎ 条例改正

問 霞深舎の利用状況は。

答 学習教室、カイロ教室、まちづくり団体等が利用。

問 霞深舎で利用料金の他に運営協力金があることを把握しているか。その状況は。

答 運営協力金は把握しており、利用率は6割程度。

問 運営協力金も今回の改正案に入れるべきでは。

答 町委託の指定管理者と利用者間の協力金と位置づけ、町は管理していない。

問 運営協力金はいつから始まったのか。まちづくり団体の使用料は免除しているのか。

答 運営協力金は以前の指定管理者が考えられ、使用料金の免除はない。

問 中央公民館の利用料金が、同じ3時間でも午前中700円、夜間1,000円になっている理由は。

答 光熱水費のため夜間が高めの設定になっている。

問 税に関する各証明書手数料金はいつから据え置かれているのか。

答 住民票等の手数料と同じく、昭和60年4月1日からである。

◎ 池田温泉利用料

問 入浴料金が500円から700円と200円アップ、一気に4割増しの改正案で、しかも4,500万円の増収計画では町民理解が得られない。黒字経営なのになぜか。

答 平成8年度開業以来、増税時も改定なく今日に至っている。しかし、重油代や最低賃金の上昇、老朽化してきた施設・設備の修繕に加え、10月の消費税増税によりさらに経費も増えており、以前ほどの利益確保が出来なくなつた。さらに今後の人口減少による収入減少も懸念される。将来を見据え、諸事情に対応しながら自立した経営継続のため、今回の改定をお願いする。

問 値上げで、4,500万円の利益見通しだが、200円上げる必要はない。2割100円でもよいのでは。これだけの利益増が必要な根拠は。

答 例として、パート職員賃金は当初の700円が、来年度は930円になる。燃料費では、重油が平成29年度の2,574万円から、本年度は3,113万円の見込みで、今後増加すると思われる。さらにここ10年先では、老朽化や不具合が進んでいる本館の建て替えに4億4千万円。新館では空調機や、ろ過器、熱交換器などの機器入れ替えや修繕で、8,800万円など、約6億円近くかかる。現在の基金2億円を差し引いても、この10年で毎年4,000万円から4,500万円の積み立てが必要である。

問 入場者数が年間2%減少とのことだが、今回改定での入浴者数の減少見込みは。

答 西濃エリア温泉施設の動向も考え、ここ5年ほどで10%減がみこまれる。

問 子どもの対象年齢が、他施設では6歳なのに池田温泉は3歳からとなっている。見直さないのか。また

改定案の高齢者や障害者の割引額250円との文言を、2分の1という表現にできないか。

答 対象年齢は、推移をみて検討していきたい。文言は、2分の1に改正する。

問 町長より令和2年4月1日からの施行日を半年延ばし、その間に温泉料金改定を十分に周知し、出来るだけ多くの方に来て頂くため、施行日を令和2年10月1日に修正するとの申し出があり、当委員会は了承した。

◎ 路線認定

問 道路形態がない路線廃止の権利関係はどうなるか。

答 下東野3号線の廃止により、町有地が増えるのか。

答 廃止路線は地積調査で確認し、官有地として確保されている。隣人が取り入れるような事はない。下東野3号線では、ふれ愛の家の増設で一体利用する。

問 町道が一体利用されている場合、払い下げはあるのか。

答 官有地の払い下げはない。

◎ 一般会計補正予算

問 リース契約のハードディスクの廃止処理手順は。

答 使用済ディスク廃棄は、業者委託。マニフェストで管理し万全な対応をしている。

問 道路維持修繕料委託料の中身は。

答 倒木の恐れのある危険木の除去作業等である。

問 一級河川草刈り委託料の作業場所と範囲は。

答 池田町全域の一級河川堤防の草刈り作業で、面積は約32万8千平方メートル。

問 農業集落排水事業特別会計補正予算

答 大津谷地区保守管理委託料の643万円とは。

答 異物流入で死滅した処理槽内の微生物除去のための汚泥搬出費用である。

問 発生時間はいつ頃か。

答 朝方に処理場の警報により対応した。

問 温泉施設特別会計補正予算

答 新館の新規営業者の保証金はいくらになったのか。

答 700万円で、11月納入済み。
問 12月からの泊まり客の駐車スペースの確保は。

答 以前から宿泊者用として確保してある。